

2026 年 1 月 22 日

プレスリリース

(一社) 日本ロボット工業会
調査・統計部会

マニピュレータ、ロボット統計 受注・生産・出荷実績 2025 年 10～12 月期及び年間【会員ベース】について

◆調査概要

本統計調査は、当会の産業用ロボット月別統計調査を基に作成したもので、当会の正会員及び賛助法人会員対象企業による実績である。

◆業況

2025 年 10～12 月期は、受注額が対前年同期比 29.1%の増加、生産額が同 26.0%の増加と、それぞれ大幅な増加となった。受注状況をみると、電子部品実装機が前四半期にも増して強い伸びを示したほか、マニピュレーティングロボットは垂直多関節ロボットが堅調で、受注額、生産額は四半期として過去最高となった。

出荷実績をみると、国内向けは依然として勢いはなく、主要業種、主要用途で減少した。輸出は電子部品実装用が旺盛な需要を背景にけん引し、中国やタイを中心にアジア向けで大幅増となったほか、欧米向けも大きく増加した。同用途向け輸出額は四半期として過去最高となっている。溶接用やマテハン用も前年同期の影響もあって大幅増となり、輸出額、総出荷額は四半期として過去最高となった。

2025 年年間¹としては、アジア向けの力強い伸びと欧米向けの回復により、受注額、生産額ともに前年から大幅な増加となった。需要環境は地政学的リスクや関税政策等を背景に依然として不安定であるものの、世界的な自動化需要や AI 関連投資、各種政策等を通して、ロボット市場の更なる成長が期待される。

受注・生産・出荷の各状況は以下の通り。

1. 受注

【10～12 月期】

・受注台数：54,740 (台)	(前年同期比 + 17.7%)	【6 四半期連続の増加】
・受注額：2,714 (億円)	(同 + 29.1%)	【6 四半期連続の増加】

【年間】

・受注台数：197,738 (台)	(前年比 + 19.1%)	【3 年ぶりの増加】
・受注額：9,258 (億円)	(同 + 27.8%)	【2 年連続の増加】

¹ 会員と非会員を含めた年間実績の公表は 2026 年 5 月末を予定している。

2. 生産

【10～12 月期】

・生産台数	： 51,797 (台)	(前年同期比 + 20.9%)	【4 四半期連続の増加】
・生産額	： 2,286 (億円)	(同 + 26.0%)	【5 四半期連続の増加】

【年間】

・生産台数	： 189,500 (台)	(前年比 + 17.2%)	【3 年ぶりの増加】
・生産額	： 8,373 (億円)	(同 + 21.0%)	【3 年ぶりの増加】

3. 出荷

【10～12 月期】

・総出荷台数	： 51,821 (台)	(前年同期比 + 22.7%)	【4 四半期連続の増加】
・総出荷額	： 2,445 (億円)	(同 + 34.1%)	【4 四半期連続の増加】
一国内出荷台数	： 8,068 (台)	(同▲21.4%)	【4 四半期連続の減少】
一国内出荷額	： 437 (億円)	(同▲10.2%)	【3 四半期連続の減少】
一輸出台数	： 43,753 (台)	(同 + 36.8%)	【4 四半期連続の増加】
一輸出額	： 2,008 (億円)	(同 + 50.2%)	【4 四半期連続の増加】

【年間】

・総出荷台数	： 189,591 (台)	(前年比 + 15.7%)	【3 年ぶりの増加】
・総出荷額	： 8,708 (億円)	(同 + 23.8%)	【3 年ぶりの増加】
一国内出荷台数	： 33,075 (台)	(同▲18.6%)	【3 年連続の減少】
一国内出荷額	： 1,763 (億円)	(同▲8.9%)	【5 年ぶりの減少】
一輸出台数	： 156,516 (台)	(同 + 27.0%)	【3 年ぶりの増加】
一輸出額	： 6,945 (億円)	(同 + 36.2%)	【3 年ぶりの増加】

3.1 国内出荷内訳

【10～12 月期】

電気機械製造業向け

・国内出荷台数	： 2,708 (台)	(前年同期比▲21.2%)	【4 四半期連続の減少】
・国内出荷額	： 137 (億円)	(同▲13.6%)	【3 四半期連続の減少】

自動車製造業向け

・国内出荷台数	： 2,242 (台)	(前年同期比▲30.0%)	【4 四半期連続の減少】
・国内出荷額	： 125 (億円)	(同▲16.4%)	【3 四半期連続の減少】

【年間】

電気機械製造業向け

・国内出荷台数	： 11,076 (台)	(前年比▲15.8%)	【3 年連続の減少】
・国内出荷額	： 554 (億円)	(同▲8.5%)	【2 年連続の減少】

自動車製造業向け

・国内出荷台数	： 9,486 (台)	(前年比▲26.5%)	【2 年ぶりの減少】
・国内出荷額	： 512 (億円)	(同▲15.0%)	【3 年ぶりの減少】

3.2 輸出内訳

【10～12 月期】

電子部品実装用

- | | | | |
|----------|-----------|-----------------|--------------|
| ・ 輸出台数 : | 4,553 (台) | (前年同期比 + 22.0%) | 【7 四半期連続の増加】 |
| ・ 輸出額 : | 895 (億円) | (同 + 52.2%) | 【7 四半期連続の増加】 |

溶接用

- | | | | |
|----------|-----------|-----------------|--------------|
| ・ 輸出台数 : | 9,591 (台) | (前年同期比 + 59.2%) | 【2 四半期ぶりの増加】 |
| ・ 輸出額 : | 236 (億円) | (同 + 55.7%) | 【2 四半期ぶりの増加】 |

【年間】

電子部品実装用

- | | | | |
|----------|------------|---------------|------------|
| ・ 輸出台数 : | 16,371 (台) | (前年比 + 27.8%) | 【2 年連続の増加】 |
| ・ 輸出額 : | 2,964 (億円) | (同 + 43.2%) | 【2 年連続の増加】 |

溶接用

- | | | | |
|----------|------------|---------------|------------|
| ・ 輸出台数 : | 34,705 (台) | (前年比 + 35.8%) | 【3 年ぶりの増加】 |
| ・ 輸出額 : | 864 (億円) | (同 + 34.6%) | 【3 年ぶりの増加】 |